

JIS

溶融アルミニウムめっき

JIS H 8642 : 2025

(SFJ/JSA)

令和 7 年 3 月 21 日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 金属・無機材料技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	片 山 英 樹	国立研究開発法人物質・材料研究機構
(委員)	伊 藤 真 二	一般社団法人日本建設業連合会 (株式会社鴻池組)
	岩 崎 央	ステンレス協会 (日鉄ステンレス株式会社)
	上 原 実	一般社団法人日本産業機械工業会
	河 村 能 人	一般社団法人日本マグネシウム協会 (国立大学法人 熊本大学)
	倉 本 繁	国立大学法人茨城大学 (一般社団法人日本アルミニ ウム協会)
	栗 田 智 久	一般社団法人日本電機工業会
	越 川 哲 哉	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	種物谷 宣 高	高圧ガス保安協会
	下 鍋 達 也	公益社団法人自動車技術会 (ダイハツ株式会社)
	須 山 章 子	一般社団法人日本ファインセラミックス協会 (東芝 エネルギーシステムズ株式会社)
	瀧 田 敦 子	秋田県産業技術センター
	中 村 照 美	一般社団法人日本溶接協会
	廣 本 祥 子	国立研究開発法人物質・材料研究機構
	宮 沢 郁 子	一般財団法人建材試験センター

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 40.10.1 改正：令和 7.3.21

官 報 掲 載 日：令和 7.3.21

原 案 作 成 者：一般社団法人表面技術協会

(〒101-0033 東京都千代田区神田岩本町 4-9 トウルム神田ビル TEL 03-3252-3286)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-11-28 三田 Avanti TEL 050-1742-6017)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 田辺 新一)

審議専門委員会：金属・無機材料技術専門委員会 (委員長 片山 英樹)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省イノベーション・環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	1
4 種類	3
5 素材	4
6 めっき浴	4
6.1 めっき浴に使用するアルミニウム	4
6.2 めっき浴のアルミニウムの純度	4
7 品質	4
7.1 一般	4
7.2 外観	4
7.3 めっきの厚さ	5
8 試験	5
8.1 めっき浴組成	5
8.2 外観試験	5
8.3 厚さ試験	5
9 検査	6
10 表示	6
11 報告	6
附属書 A (規定) 溶融アルミニウムめっき用素材	7
附属書 B (規定) めっき浴組成分析方法	9
附属書 C (規定) 膜厚並びにアルミニウム層及び合金層の厚さの試験方法	10
附属書 D (参考) 膜厚測定箇所及び測定回数の例	13
解 説	15

まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人表面技術協会（SFJ）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS H 8642:1995** は改正され、この規格に置き換えられ、また、**JIS H 8672:1995** は廃止され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

溶融アルミニウムめっき

Hot dip aluminized coatings

1 適用範囲

この規格は、鋼材及び鋼材加工品（以下、素材という。）に耐食性及び耐熱性を向上させる目的で施す溶融アルミニウムめっき（以下、めっきという。）の有効面について規定する。ただし、素材が薄鋼板（2.3 mm 以下）、線類、ボルト・ナット類、ステンレス鋼、耐熱鋼、鋳鋼及び鋳鉄の場合には適用しない。

2 引用規格

次に掲げる引用規格は、この規格に引用されることによって、その一部又は全部がこの規格の要求事項を構成している。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

- JIS H 1305** アルミニウム及びアルミニウム合金の発光分光分析方法
JIS H 1306 アルミニウム及びアルミニウム合金の原子吸光分析方法
JIS H 1307 アルミニウム及びアルミニウム合金の誘導結合プラズマ発光分光分析方法
JIS H 1351 アルミニウム及びアルミニウム合金の分析方法通則
JIS H 1352 アルミニウム及びアルミニウム合金中のけい素定量方法
JIS H 2102 アルミニウム地金
JIS Z 0103 防せい防食用語
JIS Z 3001-4 溶接用語—第4部：溶接不完全部
JIS Z 8401 数値の丸め方

3 用語及び定義

この規格で用いる主な用語及び定義は、次によるほか、**JIS Z 0103** 及び **JIS Z 3001-4** による。

3.1

製品

めっきを施した素材

3.2

有効面

製品の用途上で指定されためっき品質が不可欠な面

3.3

めっき皮膜